



議会だより

No.
133
平成28年
4月臨時会
6月定例会



益子町民デー
～がんばれ西谷選手～



今回の議会だよりは 3月 6月 9月 12月 定例会です

- 6月定例会審議結果 2
- 一般質問 3~8
- 4月臨時会審議結果・
委員会活動・会議 9
- 議会を傍聴して 10

町政に対する一般質問

6名の議員が登壇し、町長に質問しました！

会議録の閲覧もできます

議会閉会後3か月ほどで、町のHPに掲載しますので、

益子町議会→
会議録検索→
会議録検索システム→
でご覧ください。

6月定例会 平成28年度補正予算可決 ～七井小学校プール改築～

平成28年第149回定例会は、6月1日から2日までの2日間の会期で開かれました。契約1件、補正予算1件を審議し、原案どおり可決したほか、陳情1件、選挙が2件、報告が2件ありました。

町政に対する一般質問では、6名の議員が登壇しました。

平成28年度補正予算

平成28年度6月補正予算は全員賛成により可決されました。

会計区分	当初予算額	6月補正額	合計
一般会計	77億7,000万円	2億3,127万円	80億127万円
特別会計	58億499万円	-	58億499万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・臨時特例給付金（2,400万円）
- ・小さな拠点づくり整備事業（3,154万円）
- ・七井小学校屋外プール改築工事（1億6,349万円）

○平成27年度繰越し明許費について
は、道の駅整備事業、福祉給付金、「とちぎの器」海外販路・誘客推進による地場産業振興事業等です。
繰越し額は一般会計で9億2千1万7千円です。主な事業

報 告

○益子町の施設内への展示用として
△寄附者 東京都西東京市
△寄附物件等 絵画（吉川龍作品）

有田 紀男 氏
168万円相当
5点

寄付受け入れ報告

△選挙管理委員会委員補充員
仁平 宗一氏（生田目北）
三宅 明男氏（前沢）
菊地 隆氏（大沢本郷）
小熊 純一氏（星ノ宮下1）
△不採択（全員賛成）
総務産業常任委員会に付託され、審議の結果時期尚早であるとの理由で不採択となり、本会議場で委員長報告のとおり決定しました。

△結果
△栃木県小山市
大字喜沢1394番地
△合資会社渡辺商店
が落札し、「5千138万8千857円」の契約について議決しました。
4台の消防車は第1分団第3部、第2分団第1部、同第6部、第4部に配備されます。

○「川の日を国民の祝日にしようとすること」を求める意見書に關する陳情
（陳情第2号）
平成28年6月24日をもつて任期満了となるため、次の方が選ばれました。

壬生町幸町

川の日を国民の祝日にしようとすることを感謝し、川の大切さを考え直すキッカケの記念日として国民の祝日にする。

△趣旨
う会 代表 桑原 史郎
△選挙管理委員会委員
大塚 丈幸氏（内町）
茂呂 博氏（新町上）
芳井 勝徳氏（芦沼）
野澤 一志氏（上山）

○「川の日を国民の祝日にしようとすること」を求める意見書に關する陳情
（陳情第2号）
平成28年6月24日をもつて任期満了となるため、次の方が選ばれました。

契 約

選 挙

陳 情



地籍調査について

小島 平成14年に本沼地区より地籍調査が始まりました。田野地区は明治初期の測量の公図がしつかりしていまして、他地区のようない公図混乱地域という所がありましたが、今回も調査は良かつたと思っています。

調査が一時中断して、今年は854万円の予算で山本地区の予定ですが、14年当時と現在の補助率は同じなのか。

町長 14年度から始まり、19年度から一時休止をし、平成26年度から再開しております。一時休止したことにつきましては、市町村合併の影響を受けまして、補助金の削減等で厳しい財政計画を余儀なくされ一時休止しました。

調査費は後で戻つて来る

小島 私の土地の調査のこ
ろ費用は交付金とし
て戻つて来るとの説明を職員
から聞いたが、今でも戻つて
くるのか。

建設課長

建設課長 平成14年から現在までの金額でございますが、1年目は725万円、15年度は1千190万円、16年度は1千123万円ですが。

小島 久之議員

質問要旨

◆地籍調査について

副
町
長

地方交付税のことだと
思いますが、具体的に

地籍調査をや二たことによ三
て交付税に算入されるという
のは承知しておりませんが、
人件費だと思います。

人件費の一部が地方交付税に入つているとご理解いただきたいたい。

小島 明治の調査での公図の
作成は10年位で終つて
いると思いますが、現在の調
査では何年かかるてしまいま
す。

建設課長 実際に今のペースでい
きますと、何となく50
年ぐらいかかるのではないか
と思われます。

小島 5年 もう既に1年たつ
50年で終るのか、もつと何箇所からやつて早く完了させた方がいいのではないか。

副町長 大変補助率の高い事業で有効的な事業だと理解されています。益々町全般

解しております。益子町全域を早めに終わすというのは理想的なのですけれども、人手のいる事業でございます。一年間に実施できる面積も一へクタール当たりが限度と把握しております。

町に対する効果は

小島 か。 12時までにわかります。

小島

建設課長 無理でござります。
い。 後で教えていただきた

公図がとれなくなることも

小島 法務局で自宅の公図をとりました。一枚の公図の中に宅地があります。山林をとつたら4枚の公図

公図が古く、その口にあらはれて
と職員に言わされました。古い
鎖公図が欲しいといつたが、閉
れました。

建設課長 小泉の説だと思いますが、筆界未定になつて
います。

一調査の結果 山林は1割
宅地は2割増えた。調査費の
回復は実質2年で十分である

説明があつたことを付記します。





長岡 景介 議員

質問要旨

- ◆職員の資質向上について
 - ◆町内の公園の維持管理について
 - ◆益子町財政計画から公共施設等総合管理計画について

町長 平成22年度から25年度まで2年ずつ地球温暖化対策課と観光交流課に2名の相互交流を行っていました。近年の研修は平成6年度から16年度まで出していました。

長岡 地方創世が叫ばれ、益子版総合戦略『新まし
こ未来計画』がまとめられ、
新しい事業も入ってくる中、
限られた職員数と時間の中で
成果を出すためには、職員の
方々のさらなる資質の向上が
必要です。特に県への研修は、
仕事面でも将来に活きる人的
交流においても有効と考えま
すが、更に積極的に出せます

県への研修の意義

長岡
茂木町は長年真岡土木事務所と人事交流を続

長岡 茂木町は長年真岡土木事務所と人事交流を続けていて、今は研修に一人出しています。技術の蓄積は豊富であると、建築土木の現場から聞こえきます。益子は土木事務所への研修は検討されますか？

副町長 専門職の少なさは、任
期付職員などの採用
で補つてはいる。財政計画の総
員数の関係上、単独での研修
派遣は難しいが、重要性は認
識している。

開発公園の修繕に予算を取れないか

長岡 以前も取り上げたが、分譲地内の多くの公園の維持管理は地域が行っていますが、お金のかかる修繕など

副町長 専門職の少なさは任
期付職員などの採用
で補つてゐる。財政計画の総
員数の関係上、単独での研修
派遣は難しいが、重要性は認
識している。

は、町の予算で出来ないものか。分譲当初交わした管理協

は、町の予算で出来ないものか。分譲当初交わした管理協定書では、維持管理はすべて地域でとなつてゐるが、さくら市の例もあるように、協定書を書き換えて、普段の維持管理は地域が、お金のかかる管理は行政がと出来ないもの

コはと思うところからでも、協定書の見直しを強く提案し

コはと思うところからでも、
協定書の見直しを強く提案します。

理計画で状況は変わるとと思われる。

理計画で状況は変わるとと思われる。
長岡 警備保障や浄化槽管理、電気・消防設備の点検など、施設ごと別々に行つている契約をまとめれば、経費節減になると以前から提案している件はどうか？また、今

財政運営に対する提案

財政運営に対する提案

A black and white illustration of two young children, a boy and a girl, swinging happily on a swing set. The boy is on the left, smiling broadly, and the girl is on the right, also smiling. They are both wearing simple t-shirts and shorts. The swing set has a metal frame and two swings.



取り組んでいく。施設管理の専門部署の件は、人員計画等を考慮して今後検討していく。

取り組んでいく。施設管理の専門部署の件は、人員計画等を考慮して今後検討していく。

理計画で状況は変わるとと思われる。
長岡 警備保障や浄化槽管理、電気・消防設備の点検など、施設ごと別々に行つている契約をまとめれば、経費節減になると以前から提案している件はどうか？また、今



日渡守議員

質問要旨

- ◆ 益子町の人口増の取り組みについて
 - ◆ 強く逞しい人財・優秀な人財・社会に貢献できる人財の育成をめざす取り組みについて
 - ◆ 産学官連携による自然エネルギーの利用拡大の取り組みについて

暮らしの分野における移住推進策の他、町内全域で利用可能なポイントカードの導入、各種イベントを通して益子を愛する人をふやす取り組み、日本遺産登録に向けた取り組み等の様々な仕掛けにより移住促進につながる事業間の連携を深化させていきます。第2町民制度についても先進事例を参考にして検討していくまです。

日渡 首都圏住民に本町を第二のふるさとにしてもらいうため、第二町民制度を設けて本町へのU.I.Jターンの促進を図つてはどうか。

益子町の人口増の取り組み

日渡 本町への転入者の増加を図るため、移住体験や交流ツアーやを活発化してはどう。

後は新たな取り組みとして、ましこ暮らし事業を初め、移住の前段階となる交流体験事業をさらに進めるため、民間団体への支援や連携を強化するとともに、地域資産の蓄積・町内外への情報発信、観光・交流から移住へとつなげる戦略的な方針を定めてプロモーション活動を充実させていきます。議員の提案については具体的行動の第二、第三の矢として検討させて頂き、新ましこ未来計画でKPIとして定めている人口の社会動態を

町長 本町ではこれまで土祭・
ラーニングバケーション

強く逞しい人財・優秀な人財等の育成を

努力等について話を聞いています。あわせて、我々大人が苦悶の姿を背中で見せることと、張る姿を背中で見せることとどちらも大切であると考えます。今後の新ましろ未来計画でも、これを実現する姿をしつかりと見せることが大切であると見えます。

日渡 学校教育を中心とした
ポーツ少年団活動・中
学校部活動、夢を持たせ精神
力を強化する教育が必要と考
えるが町長の見解はどうか。

2020年度にゼロにする
いう目標の実現に向かってい
きたいと考えます。

教育長 人財育成については学
校教育の果たすべき役
割が常日頃から大きいと考え
ています。新ましろ未来計画
においても重要な計画と位置づけ
て、様々な取り組みを始めてい
ます。スポーツ面では、小中学生を対象に平成20年度より一流アスリートを講師に招いて少年スポーツ教室事業を開催しています。中学校の部活動では、平成26年度から

日渡 現在地方創生は喫緊の課題であり、これらに對処できる有為な人財の育成を図るために充実した町民大学の開校や自治会・育成会・生き生きクラブの活性化が必要と考えるが町長の見解はどうか。

発電システム設置費補助制度を設けて電力自給率の向上に取り組み、今年度は木質バイオマス利用のペレットストーブ設置に対する補助制度を設けました。新ましこ未来計画においてエネルギー自給率の目標値を平成32年度までに30%と掲げていますので、バイオマス発電を含めて検討していきます。

この未来計画の自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発という施策において木質バイオマス活用の実現と里山整備による不要木や間伐材の活用体制の近隣市町との連携確立をうたっています。

产学官連携による自然エネルギーの利用拡大

日渡 産学官連携による自然 エネルギーの利用拡大



直井 瞳議員

健康チャレンジポイント制度の導入について

直井 今年度より5カ年計画
で実施する新ましこ未
来計画のなかに、健康長寿ま

行政の具体的行動として、健康チャレンジポイント制度の導入とあります。どのように制度設計を行っていくのか。また、この制度における効果について伺います。

町長 健康チャレンジポイント制度は、健康の保持・増進のため、健康診査、運動教室、栄養教室、介護予防教室など健康づくり事業に参加した方にポイントを付与する

※健康増進策については、介護予防策として口コモティイブ・シンドローム対策と、生活習慣病の重症化防止策・医療費の抑制策としてメタボリック・シンドローム対策についても質問をいたしました。

その結果として、健康増進、医療費・介護予防、地域の活性化、医療費・介護給付費の抑制等の効果を想定しており、平成29年度の制度導入に向けて、今年度は、ポイント付与の対象者、対象となる事業、活動範囲、付与基準などを検討してまいります。

制度となります。この制度の導入により、健康の意識を高め、積極的に身体を動かすことで健康長寿の町を目指したいたと考えております。

子育て支援施設の設置、 子育て応援手当について

子育て世代への環境整

正方 備、支援策の充実は、社会問題となつてゐる人口減少対策に直結する極めて重要

子育て応援手当の支給が決定されました。支給に際しまして、具体的にどのような支給策となるのか、また、応援手当により波及されると思われる効果について伺います。

学生への主権者教育について

直井 今年6月19日より施行
されます公職選挙法改

しましては、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることによる子育て世代の定住化と少子化対策がひとつ、また、ましこスマイル通貨で支給することにより、地域経済の活性化にも寄与できるものと考えております。

町長　主権者教育への中学生
　　向けの取り組みとして、
教育委員会と連携をいたしま
われます。益子町として、主
権者教育への取り組みについ
て見解を伺います。

して、県選挙管理委員会及び明るい選挙推進協議会作成の小冊子「選挙のはなし」を町内3中学校の3年生全生徒に配付し、授業での活用を呼び掛けております。

また、町内の小中学校の児童会・生徒会役員選挙の際に、各学校の要望に応じて、実際に使用している投票箱や投票記載台を貸し出しことににより、選挙を身近に感じられるよう、選挙への関心を高める取り組みも行つております。

※ほかに、公職選挙法改正に伴う取り組みについては、町内の有権者が誰でも投票することができる共通投票所の設置についてと、法改正による期日前投票時刻の変更への対応について等も質問いたしました。

曾幾の
町長

増進のため、健康診査、運動教室、栄養教室、介護予防教室など健康づくり事業に参加した方にポイントを付与する

質問をいたしました。

直井 町民の皆様のニーズに応えるために事業内容などについての意向調査を実施してまいりたいと考えております。

生の一部が有権者になります。それに伴い、学生への主権者教育が必要となつており、文科省においても高校生を対象に主権者教育用の副読本が配付されております。

※ほかに、公職選挙法改正に伴う取り組みについては、町内の有権者が誰でも投票することができる共通投票所の設置についてと、法改正による期日前投票時刻の変更への対応について等も質問いたしました。

4月臨時会 審議結果・委員会活動・会議

○益子町税条例等の一部を改正する条例
(全員賛成)
法律改正に伴うもので、低所得者の軽減措置の拡充を図る改正を行なうものです。税額の軽減に係る所得の基準額を引き上げるもので、5割軽減では被保険者1人当たりの軽減加算額を5千円引き上げ、2割軽減では1万円引き上げ48万円となります。

用語解説

『専決処分』とは、緊急を要する事件が発生し、議会を招集する時間的余裕がないとき等に、町長はその議決すべき事件を処理することができます。

ただし、この場合、次の議会で報告し承認を求めなければなりません。

4月臨時会

専決処分の承認

～道の駅整備事業繰越明許費～

平成28年第148回臨時会が4月26日に開かれ、条例の一部改正2件、補正予算1件の専決処分を承認しました。

○益子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

法律改正に伴うもので、低所得者の軽減措置の拡充を図る改正を行なうものです。税額の軽減に係る所得の基準額を引き上げるもので、5割軽減では被保険者1人当たりの軽減加算額を5千円引き上げ、2割軽減では1万円引き上げ48万円となります。

○平成27年度一般会計補正予算(第5号) (全員賛成)

道の駅整備事業に係る繰越明許費の変更で、集成材運搬の道路通行許可の協議に日数を要したため出来高を見直し、繰越明許費を6億6千933万4千円に変更するものです。

総務産業常任委員会

5・25

益子町地域振興拠点施設(道の駅)の現地確認を行なった。その後、飲食・物販部門の運営について審議しました。そのため、経営責任の所在、経営会議による指導や出荷者協議会による供給体制の確認を行なった。また、地域住民にとっても、利用しやすい施設にするよう要望しました。



6・19 益子町消防団夏季点検及び消防ポンプ操作大会の視察をしました。
7・3 芳賀支部消防操法大会の会を応援しました。

教育厚生常任委員会

5・25

教育厚生常任委員会でも真岡消防署益子分署の視察を行なった。



その後通学路の現状について確認し、各地域の危険箇所について審議しました。資源ごみの現状と対策では、益子町のエコステーションへのごみの持ち込み量が多いとの説明を受け、対策について審議しました。

最後にマイナンバー通知カードの配布状況について報告を受けました。

議会基本条例策定特別委員会

5・25

条例案をまとめ6月1日の全員協議会で報告し、パブリックコメントを募集することに決定しました。ホームページや自治会全戸配布により周知しました。

7・14 条例中別に定めるとした倫理条例等の策定を始めました。

益子町議会基本条例(案)のパブリックコメントにたくさんのご意見をありがとうございました！



全員協議会

4・26

執行部より新まちこ未来計画実施計画、第5次益子町行政改革大綱、益子町財政計画の説明がありました。

施設整備事業の進捗状況と熊本地震への救援物資について報告を受けました。

議案の説明を受けました。

議会を傍聴して



上野 功さん
農業（大郷戸）

六月も終ろうとしている時に、九州地方では地震の復旧も進まないのに今日は大雨

にあわれ大変な思いをしてい

ることに心よりお見舞いを申し上げます。諺で災害は忘れ

た頃にやつてくると言われましたが、今は災害は忘れない

うちにやつてくると言われ、毎年多くの災害が発生しています。この夏は穏やかに過ぎることを祈りたいと思います。

この度議友会（議員OBと現職議員で構成）の事業として町議会の傍聴をし、後輩議員が活躍している姿を拝見し、激励の意味もふくめ三月そして六月議会を傍聴させて頂きました。私も短い期間でしたが議員の経験をさせて頂きま

した。その当時より定数も少なくなりましたが活発な質問

をしていました。毎回多くの方が質問に立ち町の事を考え質問時間をオーバーする程再、再々質問をしていること

に町の明日に希望が持てると感じることができ、たのもしく思い、又時間を作り傍聴したいと思います。そして全議員さんの質問を傍聴したいと思っています。

国会の傍聴も経験しましたが質問内容やましてや筆記用具等を持たせてくれません。町議会では質問内容も頂けますのでよくわかります。町民の皆さんも一人でも多くの方が傍聴することにより議員さんが車の両輪のように力を合わせ厳しい財政難を乗り切って頂きたいと思っています。

終わりに、先日の議友会研修に現職議員さんの参加を頂き有意義な研修が出来ましたことにお礼を申し上げ、更なる活躍を祈ります。

議会日誌

5月

- 6日 埼玉県川口市議会行政視察来庁
- 9日 芳賀広域行政事務組合議会臨時会
- 23日 議会運営委員会
- 25日 全員協議会
議会基本条例策定特別委員会
総務産業常任委員会
教育厚生常任委員会
- 30日 全国議長会議長研修会（～31日）

6月

- 1日 定例会（～2日）
全員協議会
総務産業常任委員会
- 10日 芳賀広域行政事務組合議会定例会
- 14日 芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
- 20日 芳賀広域行政事務組合議会臨時会
- 21日 山形県西川町議会行政視察来庁
- 22日 議会だより編集特別委員会
- 24日 県議長会議長研修会

7月

- 12日 芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 議会基本条例策定特別委員会
- 21日 芳賀北部広域行政推進協議会
- 26日 全員協議会
総務産業常任委員会
教育厚生常任委員会

あなたも議会を傍聴しませんか

次回 9月5日(月)開会予定

本会議当日、議会事務局(役場庁舎3階)で傍聴券を交付します。予約は不要です。

6月定例会の
傍聴者数は



山形県西川町議会運営委員会行政視察

平成26年に全国町村議長会表彰を受けた当町の議会活性化の取り組みについて視察に来庁されました。表彰に至るまでの活動内容やその後の議会活性化について説明し、意見交換をするなど西川町の議会改革についての話も伺うことができました。



議会だよりNo.133 2016年8月1日発行

●発行／益子町議会

●編集／益子町議会だより編集特別委員会

栃木県芳賀郡益子町大字益子 2030番地

TEL:0285-72-8858・8859 FAX:0285-72-0900

HP <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/>

E-mail gikai@town.mashiko.lg.jp

■印刷／有あらい印刷